

バイオリサーチパーク公開シンポジウム

# 新潟から発信するフードサイエンス

—バイオの時代を迎えて—

バイオ関連分野は世界の産業構造の中心に育ちつつあり、生み出す産業資産は、日本において25兆円規模になると予想されています。

新津市が進める「バイオリサーチパーク構想」の実現に向けて、フードサイエンス（食品科学）の話題を中心としたシンポジウムを開催します。

- とき **1月13日** 午後1時30分～5時
- ところ **新潟ユニゾンプラザ多目的ホール** (新潟市上所2) **入場無料**

## 第1部 基調講演「21世紀の食品安全性を考える」

～From Farm To Table (農場から食卓まで)～

講師 田中信正さん 新潟薬科大学応用生命科学部(4月開学)教授 細菌学博士



### あなたの食卓は大丈夫？

### みんなで考えよう 市町村合併

市のホームページでは、市町村合併に関する情報を更新しました。関係リンク集など、インターネットならではの情報をご覧ください。また、合併に関するご意見もお寄せください。

◎新潟市ホームページ <http://www.city.niitsu.niigata.jp/>

## 第2部 産・官・学・地域連携 パネルディスカッション

■問い合わせ 企画調整課企画情報係(☎24-2111 内線337)

### 地域交流講座

#### 「21世紀を創るバイオの世界」

～バイオの新しい知が、いま新潟から語り継がれる～

5回シリーズの最終回です。多くの参加をお待ちしています。

- とき 1月27日(日)の午後1時30分～3時30分
- ところ 保健福祉センター はつらつホール
- テーマ 「生命の仕組みから立ち上がるバイオベンチャー」
- 講師 = 梨本正之さん・独立法人食品総合研究所研究員
- 参加費 無料
- 問い合わせ 企画調整課企画情報係 (☎24-2111 内線337)へ。

こちらもおもしろい！



## 今年も馬年

### 「走る芸術品！馬の耳に念仏？」

馬と聞くと競馬を連想される人も多いと思います。馬同士の走り競わせる行事は、走馬、競馬などといって、奈良時代から行われていました。

現代では、競馬といえはサラブレッド。より速く走るようにと、品種改良を重ねてつくりあげられた馬です。たてがみをなびかせて走る姿は、「走る芸術品」といわれるだけあって、ほれほれとする美しさです。

一方で、「馬の耳に念仏」「馬耳東風」と、無反応 役立たずの代表のようにいわれる馬の耳。何気なく使ってしまうことわざですが、これは誤解と考えてよさそうです。馬の耳は、前方にある物の距離を測るなど、優れた機能をもっています。「馬の耳に念仏」は、悠然とした馬の姿から連想されたものなのでしょうが、馬にとっては迷惑な話ですね。

馬は、人間の願いごとにも関係があります。そう、絵馬です。その昔神に祈願してかなえられたとき、神馬とするように馬を献納しました。しかし、貧しい民は馬を納めることができないので、代わりに馬の絵を描いたり、馬の形に作った木片を献じたりしました。それが絵馬の始まりだといわれています。

午年の今年もまた、たくさん絵馬が献納されることでしょう。一年を健康に過ごせますように、そして世界に平和が訪れますように、心から願わずにはいられません。

新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。昨年同様、環境やIT革命、市町村合併といった、新しいシステムや抜本的な制度改革の検討が必要な、転換期ともいえる年でありました。特に循環型社会に向けた取り組みにつきまして、四月に施行した「環境基本条例」をもとに、市民参加による環境基本計画の策定を行っております。

## 新しい暮らしと文化づくりに向けて

地区の排水に関連する工事が昨年十月に完了したほか、荻川地区では今年度の梅雨期に対応すべく、ポンプ場の完成に力を注いでおります。

国の重点施策として掲げられたIT関連事業では、市民の皆さんを対象として開催した「IT講習会」が定員を超える受講希望をいただいたため、一月に追加講習を実施いたします。これと並行して進めている「地域インターネット基盤整備事業」により、公共施設や学校などで、幅広く市民の皆さんから情報活用していただける環境を整えます。

さて今年四月には、いよいよ新潟薬科大学新学部が移転開学いたします。これを核とした「バイオリサーチパーク構想」もさらに具体的な検討を進め、にぎわいと交流のまちの実現に向けて、市民や関係者の皆様とともに取り組んでいきたいと考えております。

今後とも市政に対しまして一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆さまのご発展、ご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新潟市長

湯田 幸永

## 平成14年 元旦 新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。平成十四年の新春にあたり、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

暮れには皇太子さま、雅子さまに敬宮愛子さまのご誕生になりました。誠にめでとうございませう。市民の皆様とともに心よりお祝いを申し上げ、優しく伸び伸びとご成長なされますことをお祈り申し上げます。

昨年は国内外を問わず、私たちが歴史の大きな転換点にいたることを思わせるような出来事が次々と発生し、現代の既成概念を超えても、課題の解決どころか問題の背景すら読みとれない事件が多くありました。私も議会には常に市民福祉の向上を念頭に、広範な視点から市民生活に立脚した政策を希求し、誤りのない確かな判断をしまいにしたいと思います。

今春は新潟市の願望でありました大学が新潟丘陵に開学いたします。すでにご案内の新潟薬科大学であります。

## 新たな飛躍を願って

ます。薬科大学は新潟市のみならず新潟県の将来にも無限の可能性をもち、地域に新たな価値を創造することになると考えています。新しく設置される応用生命科学部は応用生命科学、食品科学分野の高度先端的な基礎研究、技術開発と実践を担う人材育成とともに、新潟市が推進しているバイオリサーチパーク構想の弾みになると大いに期待しております。

また将来に関わる課題として市町村合併があります。国が施行した合併特例法により、県も市町村合併の目安となる合併促進要綱を策定しております。議会といたしまして、十分な合併に対する知識と理解を深め、情報を互いに共有して市の現状認識と将来のありべき姿を調査研究するため、合併問題調査研究会を発足し、鋭意検討しているところであります。

私も議会も新たな年を迎え、市民の皆様のご期待に応えるよう決意を新たにいたしております。本年も相変わらずのご支援、ご協力を賜りますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新潟市議会議員

佐々木 富夫